

みやけの風

第 53 号

平成13年(2001年)11月3日(土)発行
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
 発行責任者：上原 泰男
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ10階
 東京ボランティア・市民活動センター 気付
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

「アンケートは集まっただかし?」「おらげじゃ送ったら役場からお礼の電話があったぞ」「まさか」「それくらいの意気込みでしねきゃあってことだじよ」「だから」「わりや出したかよ」「まだ置いてある」「まったくまあ、ハイ、もう期限だじよ」「思うことは何でも書いていいだかし?」「遠慮しねえできちんと書いた方がいいじゃねえ?」「そうだじよな~」

みんなの声

(1)

私達、三宅村商工会女性部の20名一行は、10月22日朝、サルビア丸にて新島に下船しました。新島の人達は、私達を肉親を迎えるように、温かくもてなして下さいました。紺碧に輝く海、真っ白な砂、モアイ像、新島の景色は私達の目に素晴らしくきれいにうつりました。

新島の若郷に案内された時です。小学校の裏山が頂上からくだけ落ち、下には大きな大きな岩が、崩れ落ちていました。婦人部の方の話によると、ものすごい地響きをたてて岩が崩れる中を、道路はふさがれてしまったので、海岸づたいに逃げたそうです。もし、満潮だったら、渡れなかったとおっしゃっていました。

「ああ、私達だけではない。新島の皆様も大変な目にあっていたのだ。」と、驚き

ました。

そういう目にあっっているながら、夜の新島・三宅村商工会女性部20周年交流会には、三宅島元村長夫妻も呼んでくださり、役場の助役もご出席のもと、心のこもった歓迎をしていただきました。避難生活をしていると、“がまん、がまん”の生活をしているので、涙も流さずにいたのですが、皆様の親切が心にしみ、ただうれしくて、悲しくって、泣くばかりでした。帰りの船では「こんなに悲しい船の別れは、一生に初めてだ」という声も聞かれ、新島の皆様の「がんばって、身体に気をつけて」の見送りに、本当にありがたく、「これからみんなでがんばろう」と誓い合いました。

残念なことに2日間、山の上に三宅島を見に行きましたが、「私みにくい姿を見ないでほしい」と言っている様に、「私を忘れないでほしい」とすその方だけ見せて、その日は私たちに向かって、いつもよりガ

耳より情報

「小島 章司フラメンコ2001 アトランティダ幻想」に 三宅島島民の方、合計10名さまをご招待

6月のご招待が大好評だった、小島章司フラメンコ舞踊団の秋の公演に10名をご招待します。東京ボランティア・市民活動センターのスタッフの方より「自分の出演する公演にご招待して、楽しい一時を過ごしていただけたら」とチケットをお預かりしています。ご希望の方は、東京センターまでお電話でお申し込みください。

日時：11月24日(土) 先着6名さま 18:30開場 19:00開演
 11月25日(日) 先着4名さま 14:30開場 15:00開演

会場：メルパルクホール(東京・芝)
 都営浅草線大門駅 a6出口より徒歩6分・都営三田線芝公園駅 a3出口より徒歩3分
 JR浜松町駅北口下車徒歩10分

お申し込み：03-3260-7573 三宅島支援東京センター

スの臭いを強くさせていました。
(目黒区 山本 喜美代)

(2) 10月14日(日)江東区東陽町YMCAにて、定例会を開催。53名の出席があり、一時帰島の反省、連絡事項、懇談等の内容で、有益でわきあいあいの一時を過ごす。とくに、一時帰宅についてのフリートークングでは、火山ガスに関する詳しい情報の公開や対策、ネズミの駆除、家屋の雨漏り対策など、活発な意見や感想が続出した。

会ではこれをまとめて、村当局に参考にしてもらうことになっている。

10月20日(土)、21日(日)の2日間、第19回江東区民まつりに参加。江東区に在住する三宅島民全員に招待状が届き、多くの参加がみられた。ふれあい広場の一角に三宅島阿古会による七島物産販売コーナーが設けられ、先着500名に無料のおしるこがサービスされ人気を集めていた。そのお手伝いに、江東・三宅島会の婦人方12名がボランティアとして活躍した。阿古会と、お世話になっている区民の皆様、感謝の気持ちを込めての活動であり、参加した人たちの笑顔の中に、爽やかな充足感を見ることが出来た。(江東・三宅島会)

三宅島支援東京センターからのお知らせ

10月31日(水)に、八王子市別所の長池ネイチャーセンターにて行なわれた「島民生活支援プロジェクト 事務所開所式」に寺本社協会長、当センターからも上原事務局長をはじめスタッフで出席させていただきました。このプロジェクトは、八王子市

内に入居している三宅島民同士でつくられている「三宅島八王子の会」の役員の方々を中心に、「長引く避難生活のなかで仕事を見つける事は、収入だけではなく気持ちの面でも大切なことではないか」ということで、八王子に避難している島民に就労を中心としたアンケートをして、その結果をうけて八王子市ならびに八王子市職労、連合三多摩その他関係機関の皆様の協力により事務所を開設し活動していくことになったという経過報告がありました。

関係の皆さんからは、「八王子に居る間は同じ市民として共に暮らしていただきたい」、「この間、三宅島住民の方と接してきましたが、私達市民にとっても三宅島は第二の故郷の様に感じています」と、励ましと三宅島住民に寄り添ったあたたかい言葉がありました。

今後については事務局を担当する島民の方から、「一人でも多くの三宅島住民の就労に対する情報発信基地として活動していきたい」というお話がありました。

今までにない新たな活動がはじまったことに、おおいに期待をしたいと思います。

(三宅島支援東京センター 坂上 幸一郎)

島民生活支援プロジェクト 事務所

〒192-0363 八王子市別所 1-2275-1

(八王子市立 長池小学校 体育館内)

TEL:0426-77-5173

八王子市長池公園そばの花卉栽培農園

(パンジー畑)から徒歩5分ほどの所にあります。

事務所開設時間:月曜～金曜 午後1:00～4:45

三宅島支援東京センターは、11月3日(土)～5日(月)連休いたします。みやけの風へのご意見などは、火曜日以降にお願い申し上げます。(東京センター)

11月 テーマ:「風邪の予防」

日程	時間	場所	担当
11月5日(月)	14:00～15:30	東久留米市西団地集会所	肥後・福本
11月9日(金)	14:00～15:30	大田区東電社宅集会所	肥後・福本

お問合せ先:あじさいの里 TEL:03-3459-8388

日時や場所は、変更することがありますので、事前に電話でご確認の上お出かけください